



魅力満載！ 北本の秋は祭りの秋

市をあげての一大イベントである「北本まつり」、市の花である菊を取り上げた「きくまつり」、「市民文化祭」、「秋のキャンプまつり」、「地域コミュニティ祭」や「スポーツフェスティバル」など、北本の秋は祭りいっぱい。他にもイベント盛りだくさん。北本の秋を思いっきり楽しんでみませんか。

笛や太鼓の音が聞こえてくると、なぜか、心が躍ります。お祭りは地域の人びとの最大の楽しみであり、ふれあいの場、人びとのエネルギーがひとつになる場です。

色鮮やかな季節である秋、まちはひっそりと冬をむかえる準備に入ります。静寂な時が流れるなか、北本の秋は、一年中で最も盛り上がりを見せます。

まちをあげての一大イベントである「北本まつり宵まつり」は、各団体のパフォーマンスがまつりを盛り上げ、扇形の範頼ねぶたや地域コミュニティなどの大きささまざまなねぶたが練り歩くころに最高潮を迎えます。

市の花であり、菊が美しく咲くこの時期に毎年開催される「きくまつり」は、丹精込めて育てた菊花や菊人形などが展示され、深まる北本の秋を彩ります。

また、民家や納屋を改装した「北本アトリエハウス」で各種アートイベントを開催します。

今年の秋も北本は、大人も子どもも一緒にあってまちがひとつに燃え上がります。そんな北本の秋を思いっきり楽しんでみてはいかがでしょうか。

北本まつり準備中

北本の秋の風物詩といえば、「北本まつり」。「宵まつり」は、流し踊りや各団体のパフォーマンスで幕を開け、夕方からは、伝統のお囃子（はやし）が響くなか、扇形の範頼ねぶたや地域コミュニティなど各団体が制作した大小さまざまなねぶた（ねぶた）・山車が西中央通りを練り歩きます。「産業まつり」では、市内や姉妹都市である福島県会津坂下町の特産品の展示・即売などが行われます。

ねぶた絵・囃子講習会が行われました

8月18日・19日に、北本市まちづくり観光協会の主催で、西部公



ねぶた絵講習会の様子

民館にて「ねぶた絵・囃子講習会」が行われました。

北本まつりで運行される「ねぶた（ねぶた）」は、約20年前に、当時の社会教育委員が、青森県弘前市の「弘前ねぶた」の制作方法や画法を学び、北本市青少年育成市民大会で制作・運行した「北本ねぶた」を、平成6年の北本まつり宵まつりで披露・運行したことに始まります。その後、各地域コミュニティや各団体で、特色あるねぶた（ねぶた）が制作・運行されるようになり、現在では、約30台のねぶた（ねぶた）や囃子山車が、宵まつり会場を練り歩きます。そこで、北本のねぶ

たのルーツである弘前市から、ねぶた絵制作・ねぶた囃子演奏の第一人者を講師に招き、ねぶたの歴史や仕組み、隊列編成などを学んだのち、ねぶた絵の描き方やねぶた囃子の太鼓・笛の演奏法について学びました。ねぶた絵では、夜間運行で映えるようにするためのろう描きや着色方法などの特徴的な技法を学び、ねぶた囃子では、「進行」「休み」「戻り」の3種の調子を学びました。

約30人の講習会参加者は、各地域コミュニティや各団体に学んだことを持ち帰り、北本まつり宵まつりにて、その成果が披露される予定です。今から宵まつりでの皆さんの活躍がとて楽しみみです。なお、講習会で描かれたねぶた絵は、10月から北本まつり当日まで、JR北本駅ホームおよび構内で展示します。

■ ねぶた（ねぶた）とは ■

現在の青森県津軽地方で行われている夏祭りの一種です。起源については、夏の眠気や邪霊などを灯ろうなどに乗せて川や海に流す「眠り流し（ねむりながし）」が「ねぶた流し」に変化したなどの説があります。

■ ねぶたとねぶたの違い ■

ねぶたもねぶたも言葉のなまりで、まつりで運行される山車をさしています。弘前では「ねぶた」と呼び、青森では「ねぶた」と呼んでいます。弘前では扇型の「扇ねぶた」が多く運行され、青森では人形型の「組ねぶた」が多く運行されています。



囃子講習会の様子

【開催】北本まつり

○宵まつり

日時 11月10日（土） 午後2時10分から8時30分

○産業まつり

日時 11月11日（日） 午前9時30分から午後2時30分

場所 北本中学校校庭

※詳細は広報きたもと11月号でお知らせします。

第18回北本きくまつり

今年で18回目となる北本きくまつり。

市の花にも指定されている菊を囲んで毎年賑やかに開催されています。

開催場所の総合公園芝生広場には市内小学校の児童、また、北本市を始めお隣の鴻巣市や桶川市の愛好家が丹精込めて育てた菊が多数展示されています。その種類も豊富で、数百枚の花弁がこんもりと盛り上がった厚物(あつもの)、管のように伸びた花弁が放射状に広がる管物(くだもの)、また、小菊の特徴を生かし、たくさんの花が垂れ下がるように仕立てられた懸崖菊(けんがく)、スプレー菊などを使った



第17回北本きくまつりの様子

菊人形など、趣向をこらした展示物も多数あり、来場者の目を楽しませています。

イベントの一環として、第4回クラシックカーフェスティバルや、第5回北本よさこい、第6回北本野外音楽祭も開催され、大勢の来場者で連日大賑わいとなります。

市内人気店の模擬店やB級グルメの出店もありお腹も大満足！紅葉の訪れた総合公園にぜひ足を運んでください。

期間中のイベント

(開催時間 午前10時から午後3時)

- 11月3日(土・祝)
 - ・係留熱気球※有料
 - ・第5回北本よさこい
- (昨年実績・県内外より38チーム約850人が参加)
- 11月4日(日)
 - ・第6回北本野外音楽祭
 - ・第4回クラシックカーフェスティバル(150台参加予定)
 - ・グラウンドゴルフに挑戦
 - ・電気機関車に乗ろう！

- 11月3日(土)・4日(日)両日
 - ・地場産品の販売、模擬店・B級グルメの出店
 - ・フリーマーケット

- ・子供縁日コーナー(射的・輪投げ・金魚すくい等)
- ・植木、草花の販売
- ・ユニボ運転体験コーナー
- ・ふわふわドーム

きくまつり会場ご案内

場所 総合公園(古市場1-167)
交通機関 JR高崎線北本駅下車

「徒歩」 25分

「バス」 川越観光バス「工業団地循環」北本高校前バス停下車1分
駐車場 約600台※公園周辺にも臨時駐車場をご用意していますが、台数に限りがあります。

問合せ きくまつり運営委員会(総合公園管理事務所 ☎592-4050)



きくまつりに
参加しませんか？



○展示作品の募集 市民の皆さんが育てた菊を募集します。

出品期間 きくまつり開催期間中

申込み 10月21日(日)までに所定の申込用紙に記入のうえ、総合公園管理事務所(古市場1-167)までお申し込みください。

参加費 無料

○フリーマーケットの出店者募集

日時 11月3日(土・祝)、4日(日) 午前10時から午後3時

場所 総合公園 きくまつり会場
区画数 30区画を予定(個人、団体を問わず2区画まで)

参加費 1区画(間口約3m奥行き約2m)1日当り1,000円 ※当日持参

応募方法 10月21日(日)までに開催要項を確認のうえ、所定の出店申込書(総合公園ホームページ <http://www.kitamoto-sogoko.jp>)よりダウンロードできます)に必要事項を記入し、窓口へ直接または郵送でお申し込みください。

なお、応募者多数の場合は抽選とします。

応募先 総合公園管理事務所 きくまつりフリーマーケット係(〒364-0003古市場1-167)

0003古市場1-167)

【イベントの紹介】 きくまつり期間中に開催される主なイベントを紹介いたします。

北本野外音楽祭 11月4日

「北本をもっと知ってもらいたい」「北本を元気にしたい」という思いから始まり、今年で6回目となる「北本野音」。

今回は、さらに北本を元気にするためにパワーアップし、2つのステージで「見る」「聞く」「やってみる」を開催します。

ゆるやかな音楽と森、水辺を装飾した広場でのんびりしませんか。

ライブステージ(Kiku Stage)では、メインゲストに各地野外フェスで人気の「マーレーズ」、ゲストダンサーにはTVで話題の黄帝心仙人率いる「タイムマシーン」を始め、日本最大のダンスイベント「DANCE DELIGHT」ファイナリ

スト、数々のダンスバトル優勝者、ハイパーキッズダンサーが出演します。

池ステージ(Iike Stage)には「ねむむの木」ライブのほか、ヘンプアクセサリー教室、ガラス工房、ハンドメイドアーティストによる芸術展を開催します。

日時 11月4日(日) 午前10時から午後4時30分

場所 総合公園 きくまつり会場内

出演者 マーレーズ、ねむむの木、タイムマシーンほか

入場料 無料

参加方法 当日直接会場へ
問合せ 北本野外音楽祭実行委員会(総合公園管理事務所内 ☎591-4050)

北本野外音楽祭



アコースティックレゲエを基盤としたライブで人気の「マーレーズ」



数々のダンスイベント優勝の「タイムマシーン」



全国を巡ってライブを行う「ねむむの木」

クラシックカーフェスティバル

11月4日

第一回目は50台の参加で始まったこのイベント。昨年は150台の参加をいただき、ご来場の皆さんにも大いに楽しんでいただきました。会場から北本駅東口を往復するクラシックカーによる交通安全パレードは圧巻です！



北本よさこい

11月3日

埼玉県内だけでなく各地より多数チームが参加し、秋晴れの空の下、踊り子達が元気一杯舞い踊ります。畳9畳もの大きなフラフ(旗)を巧みに操り、大空にはためくフラフのパフォーマンスも迫力満点！



その他イベント盛りだくさん！

11月3日 係留熱気球※有料



11月3・4日 ミニポンも動かせる！



11月4日 電気機関車に乗ろう！



北本アートイベント

市では、市内の空き家や空き店舗、駅や雑木林などまちのさまざまな場所を北本の地域資源としてとらえ、新たな価値を持つ「おもしろ不動産」として活用していくアートプロジェクトに取り組んでいます。

問合せ 産業観光課観光推進担当（☎594-5530）、

NPO法人キタミン・ラボ舎（☎501-5752）

おもしろ不動産「北本アトリエハウスキックオフ！」

今年度は、民家や納屋を、アートプロジェクトの拠点施設「北本アトリエハウス」として、ギャラリー・カフェ+レジデンススペース+交流スペースに改装します。改装段階から市民の皆さんの参加を募り、



北本アトリエハウス外観

市民参加型アートプロジェクトをすすめていきます。

日時 10月7日(日)・8日(月)・祝・13日(土)・14日(日) 午前11時から午後5時

内容 改装プランの展示、ギャラリー

おもしろ不動産トークイベント「アートと地域を考える アーティスト・イン・レジデンスが地域にできる!」

徳島県神山町でアーティスト・イン・レジデンスを核に発展してきた地域づくりの事例を伺いながら、アーティストが地域で活動することの意義を考えます。

日時 10月7日(日) 午後3時から5時

内容 アーティスト・イン・レジデンスの取組みについての講演 ※アーティスト・イン・レジデンスとは国内外の芸術家をひとつの地域に一定期間滞在させて、創作活動を

させる制度や事業です。

出演者 大南信也(NPO法人グリーンバレー理事長)、L PACK (アーティスト)、EAT & ART (FARO(現代美術家))

市民プロジェクト 参加者募集説明会

北本アトリエハウスを拠点に行われる3つの市民プロジェクトの参加者を募集します。それに伴い参加者募集説明会を開催します。

日時 10月13日(土) 午後1時から2時

内容

①オモヤハウス改装プロジェクト (民家をカフェ&レジデンス施設に改装)

②トマトピクルスクラブ(北本でかつて作られていた「トマトピクルス」を復元)

③People's House デザインチーム(古着を解体してつくるパッチワークの布をもとに、洋服や布小物などを制作)

ナヤノギャラリー 若手芸術家サポート展覧会 高木沙織個展「平べったい光」展

近年、若いアーティストやクリエイターが北本へ移住しています。



北本アトリエハウス内のナヤノギャラリーでは、こうした若い芸術家達に発表の機会を提供します。

日時 11月3日(土・祝)・4日(日)・10日(土)・11日(日)・17日(土)・18日(日) 午前11時から午後7時

内容 版画の手法を用いた絵画を制作する高木沙織の個展

イベント会場案内

場所 北本アトリエハウス 荒井5-164

交通 駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。参加費・参加方法 参加費無料。当日直接会場へお越しください。